

2 研究の実際 > (2) 活動プログラムの実際 > エ 活動プログラムの実践

<高等学校> 活動プログラム①怒りについて知る



**ペアやグループを意図的に構成して、実践しました！**

1 活動プログラムの展開案において、ペアでの活動がある場面を確認しました。

【活動プログラム1時目の展開案より】	
(2) 「怒りの温度計」を比べての気づきを発表する。 【7分】	【スライド7】 ○記入した怒りの温度を隣の人と比べましょう。ワークシートを横に並べて、①から⑦の場面での温度を比べてください。

学習活動3  
怒りの感じ方について考える  
(2) 「怒りの温度計」を比べての気づきを発表する

資料1 活動プログラム1時目におけるペア活動の場面

2 「がばいシート」を実施しました。

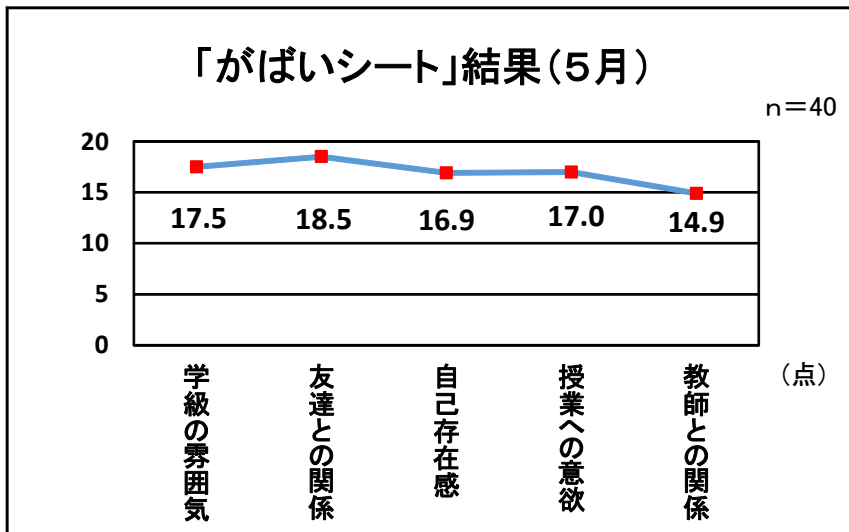


図1 「がばいシート」結果(5月)

3 学習のねらいと「がばいシート」の結果から、以下のようなグルーピングのための視点を挙げました。

- 怒りの理解や怒りへの対処法の学習を通した自己理解と他者理解を深めるため
  - ・出身中学や部活動を考慮して、日頃の交流がなく、関わりが少ない生徒同士を組む。
  - ・入学してまもなく、男女の交流が少ない学級の実態を踏まえて、男女のペアを組む。
- グループでの活動が停滞しないようにするため
  - ・友達との関わりが苦手な生徒と、友達に対して穏やかな態度で接するなどの気遣いができる生徒を組む。



- 4 「グルーピングのためのアセスメントシート」を活用して、「がばいシート」の結果と担任の観察を基にして総合的にアセスメントし、グルーピングを行いました。  
 ※資料2は、個人情報保護のため、一部データを加工しています。

グルーピングのためのアセスメントシート (高等学校)		「がばいシート」より (〇月〇日実施)										担任等の観察 (〇月〇日現在) ※該当する項目にチェック☑をしてください					グルーピング ※首段、関わりが少ない生徒同士を組み合わせる		
		友達との関係					学級の雰囲気					合計得点 (20点以下にチェック)	「怒り」について知る 見られた この一週間で、イライラした様子が 些細なことでも、怒りやすいタイプである	音の聞き取りに苦しさがある	この一週間で、トラブルがあった	友達との関わりが苦手である (◎か○を付ける)		(備考) ※グループングに關しての担任の見取りを記入する (例) 要支援群(「QRU-アンケート」)、不登校傾向、○○さんとは×、事前説明が必要、◇◇部に在籍 など	
		仲間に入れてくれる友達がいる	何でも話せて分かってくれる友達がいる	困っているときに助けてくれる友達がいる	秘密や約束を守ってくれる	悪口や暴力、無視などで傷付けられることはない	学級は、明るくて楽しい雰囲気	だれとでも話しやすい雰囲気	だれかを守られ、みんなが気持ちよく過ごせている	ルールが守られ、みんなが気持よく過ごせている	問題があったとき、みんなが考え解決しようとしている								だれかが悲しむような言動はない
No.	氏名																		
1	〇〇 〇〇	4	4	4	4	3	3	4	4	4	38	☑						▲▲中 △△部	A
2	〇〇 〇〇	4	4	4	4	4	3	4	4	4	37						○	▲▲中 △△部	B
3	〇〇 〇〇	4	4	4	4	4	3	3	4	4	35							▲▲中 △△部	C
4	〇〇 〇〇	4	4	4	4	4	3	3	4	4	37			☑				▲▲中 △△部	B
5	〇〇 〇〇	3	3	4	4	4	3	3	3	4	34							▲▲中 △△部	C
6	〇〇 〇〇	4	4	4	4	4	4	4	4	4	40					◎		▲▲中 △△部	A
7	〇〇 〇〇	4	4	4	4	4	3	3	4	4	37							▲▲中 △△部	D
8	〇〇 〇〇	3	1	4	1	4	3	2	4	3	26	☑						▲▲中 △△部	E
9	〇〇 〇〇	4	4	4	3	3	4	4	4	4	38					◎		▲▲中 △△部	E
10	〇〇 〇〇	4	3	4	4	4	4	4	4	3	37							▲▲中 △△部	D

資料2 「グルーピングのためのアセスメントシート」を活用したグルーピングの実際



- 5 実際の座席は、以下の点に気を付けて配置しました。今回、配慮した生徒は4名です。  
 ※資料3は、個人情報保護のため、一部データを加工しています。
- ・配慮を要する生徒を含むペアは、教室前方に配置する。

〇年〇組 座席表(〇月〇日 活動プログラム①「怒りに関して知る」)

〇〇 〇〇 ▲▲中 △△部	〇〇 〇〇 ▲▲中 △△部	〇〇 〇〇 ▲▲中 △△部	〇〇 〇〇 ▲▲中 △△部	〇〇 〇〇 ▲▲中 △△部	〇〇 〇〇 ▲▲中 △△部	〇〇 〇〇 ▲▲中 △△部	〇〇 〇〇 ▲▲中 △△部
〇〇 〇〇 ▲▲中 △△部	〇〇 〇〇 ▲▲中 △△部	〇〇 〇〇 ▲▲中 △△部	〇〇 〇〇 ▲▲中 △△部	〇〇 〇〇 ▲▲中 △△部	〇〇 〇〇 ▲▲中 △△部	〇〇 〇〇 ▲▲中 △△部	〇〇 〇〇 ▲▲中 △△部
〇〇 〇〇 ▲▲中 △△部	〇〇 〇〇 ▲▲中 △△部	〇〇 〇〇 ▲▲中 △△部	〇〇 〇〇 ▲▲中 △△部	〇〇 〇〇 ▲▲中 △△部	〇〇 〇〇 ▲▲中 △△部	〇〇 〇〇 ▲▲中 △△部	〇〇 〇〇 ▲▲中 △△部
〇〇 〇〇 ▲▲中 △△部	〇〇 〇〇 ▲▲中 △△部	◎ 〇〇 〇〇 ▲▲中 △△部	* 〇〇 〇〇 ▲▲中 △△部	〇〇 〇〇 ▲▲中 △△部	〇〇 〇〇 ▲▲中 △△部	〇〇 〇〇 ▲▲中 △△部	〇〇 〇〇 ▲▲中 △△部
* 〇〇 〇〇 ▲▲中 △△部	◎ 〇〇 〇〇 ▲▲中 △△部	◎ 〇〇 〇〇 ▲▲中 △△部	* 〇〇 〇〇 ▲▲中 △△部	◎ 〇〇 〇〇 ▲▲中 △△部	* 〇〇 〇〇 ▲▲中 △△部	〇〇 〇〇 ▲▲中 △△部	〇〇 〇〇 ▲▲中 △△部

教卓

黒板



電子黒板(70インチ)

- 【座席表上の記号】
- ◎(気遣いができる生徒)
    - ・穏やかな態度で友達と接することができる
    - ・しっかりしている
  - \* (配慮を要する生徒)
    - ・怒りやすい
    - ・友達との関わりが苦手

資料3 座席配置の実際



## 6 実際の授業は、以下の通りです。

過程	●配慮の実際	・生徒の反応や教師の気づき
【授業前】	<p>●既存の座席が奇数列で横の席でのペア活動を行うことに支障があったため、座席を偶数列に変更した。</p> <p>●教師がサポートしやすくするために、配慮した生徒を含むペアの座席を教室前方に配置した。</p>  <p>【座席の様子】</p> <p>●授業当日の朝、担任から生徒に主な学習内容と活動形態（ペア活動）、それに伴った座席配置について伝えた。</p>	<p>・生徒の反応や教師の気づき</p> <p>・配慮した生徒の1人が、座席が前方に配置されていたことで、自分が教師に配慮されているのではないかと気にしている様子が見られた。</p> <p>・座席表を学級全体に対して示したため、座席の変更についてはスムーズに行うことができた。</p>
【授業中】	<p>●男女でのペア活動を円滑に進めるために、ペアの机を寄せ合うこととした。</p>  <p>【ペア活動の様子】</p>	<p>・ペアでの活動において、全体的に活発なやりとりが見られた。</p> <p>・配慮した生徒は、記入した「怒りの温度計」をペアの生徒と伝え合い、気づきを出し合っていた。</p>
【授業後】	<p>●配慮した生徒の様子を観察し、必要に応じて声掛けをした。</p>	<p>・配慮した生徒が、授業後、一緒に活動したペアの相手と会話を交わす場面が見られた。</p>



## 実践してみたら、このような生徒の姿が見られました！

- ◆授業後の生徒の反応（「グループ活動アンケート」・「振り返りシート」より）  
※配慮した生徒は4名で、グラフ上に人数を（ ）で示しています。

- ペア活動における生徒の友達に対する意識の変化について  
・「グループ活動アンケート」の質問に対する生徒の回答の結果  
※配慮した生徒は4名で、グラフ上に人数を（ ）で示しています。

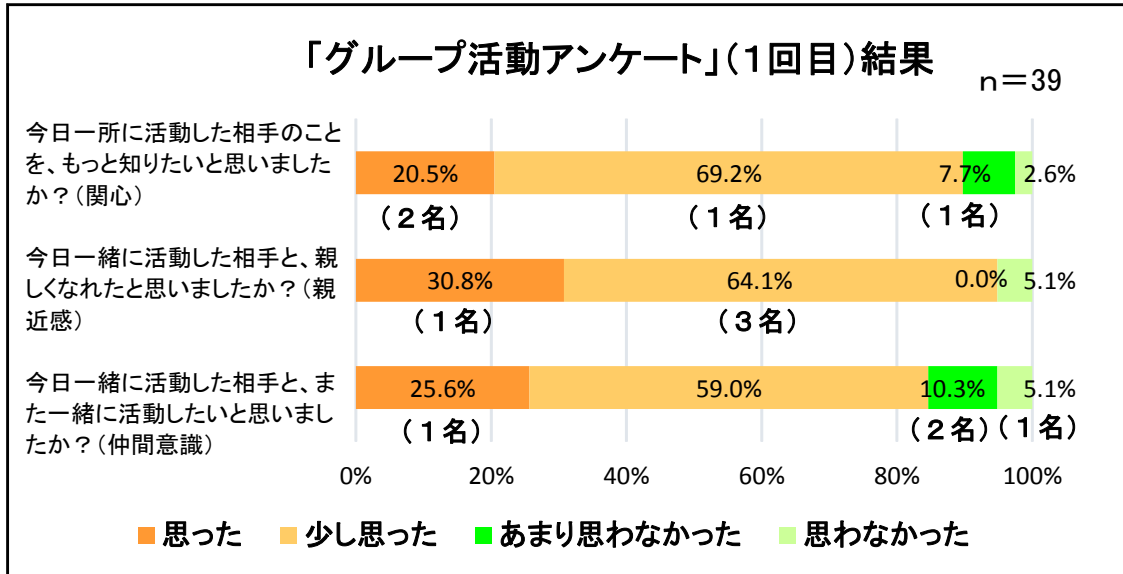


図2 「グループ活動アンケート」(1回目)結果

- ・ 配慮した生徒の感想



他の人とも意見を交換したり、多くの人と話をしたりしたいから、今度は今日のペアの相手とは違う人と活動してみたいと思いました。

○ペア活動で取り扱った「怒りについて知る」の学習について

・「振り返りシート」の質問項目に対する生徒の回答の結果

※配慮した生徒は4名で、グラフ上に人数を（ ）で示しています。

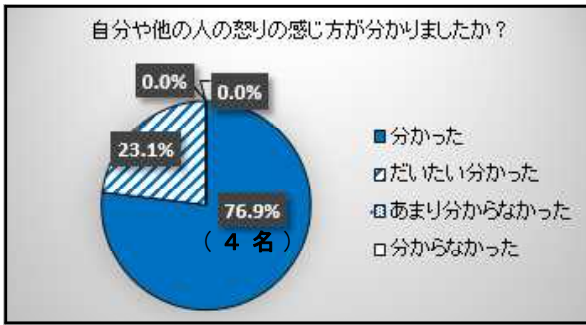


図3 自他の怒りの感じ方の理解について

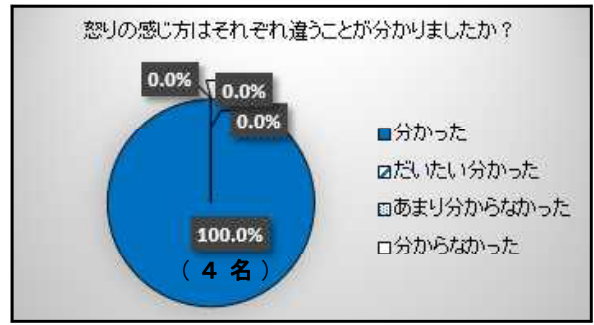


図4 怒りの感じ方はそれぞれ違うことについて

・生徒の感想



他の人の意見を聴いて、自分との違いについてよく考えることができました。

自分がされたら怒らないことでも、自分以外の人は怒ることが分かったので、今後の行動を考えたいと思いました。



○ペア活動を取り入れた学習への参加状況と学習内容に対する活用意欲について

・「振り返りシート」の質問項目に対する生徒の回答の結果

※配慮した生徒は4名で、グラフ上に人数を（ ）で示しています。

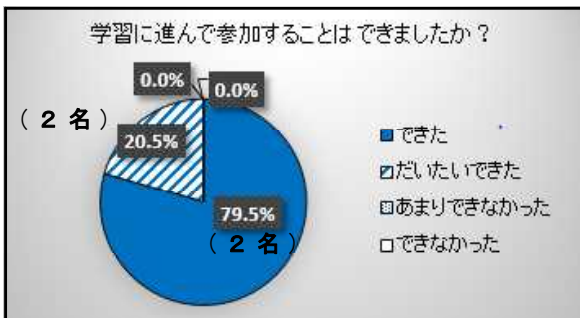


図5 学習への参加状況について

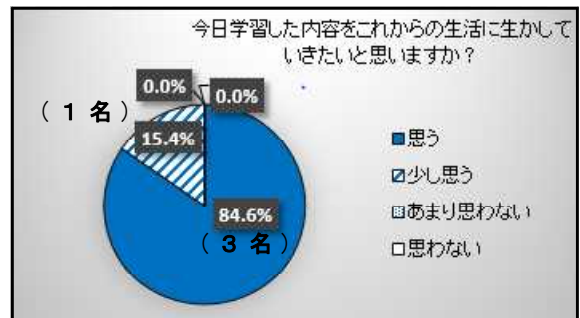


図6 学習内容に対する活用意欲について

・生徒の感想



今まで知らなかった怒りの仕組みから対処の仕方まで分かって、実践してみようと思いました。皆、考え方が違って面白かったです。



今日の授業で、自分のことや他の人のことがよく分かりました。また、怒りへの対処法が分かったので生かしていきたいと思いました。

#### ◆授業後の教師の感想



通常の教科の授業とは異なる授業形態でしたが、生徒はスムーズに活動に参加していました。また、普段あまり関わりのない生徒同士のペアでしたが、ほとんどの生徒がペア活動に積極的に取り組んでいる様子が見られました。特に、自分が感じたことや気付いたことを伝え合うシェアリングの場面で、生徒が表情豊かに交流していたことが印象深かったです。

配慮した生徒の「グループ活動アンケート」には、「ペアの相手とは考え方が違って、もっと相手のことを知りたいと思った」「ペアの相手と楽しく話し合うことができた」という記述が見られました。また、授業後には一緒に活動したペアの相手と会話を交わす場面も見られたことから、今回の授業は、友達との関わりが苦手な生徒にとって、人との関わり方を学ぶよい機会になったと思います。